

# 外国語科学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校  
教諭 〇〇 〇〇

- 1 日時・場所 平成25年11月〇日 (〇)
- 2 学年・対象 第2学年〇組
- 3 単元名 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 Program6 A Work Program
- 4 単元設定の理由

## ○ 教材観

本単元で扱う不定詞を用いた表現は、生徒にとっては適切に使い分けることが困難なものであると考えられるが、一方で、身近なことや自分の思いを相手に伝えることを苦手としている生徒にとっても、表現してみようという気持ちをもたせるとともに、身近なことが表現できたという喜びを実感させることが可能な言語材料である。

さらに、これまでに学習した言語材料と合わせて用いることで、自分のしたいことや目的などについてさらに詳しく表現することができるという喜びを感じることができる。

また本単元は、中学生の由紀、武史、桃子が職場体験を通して学んだことをウッド先生に話したり、クラスの中で将来の夢について発表したりする場面が取り上げられており、自分の将来について考えたり、職業観を深めたりするにはたいへん意義のある題材である。また、自分のこととして職業体験で学んだことや将来の夢について、書いたり話したりすることができるため、表現する意欲を高めることのできる題材である。

これらのことから、本単元は、学習意欲の高揚や表現力の育成を図ることに有効であると思われる。

## ○ 生徒観

本校の英語科では、1学年で週に2時間、2学年で週に1時間のTT指導を行っている。本学級の生徒は、授業中は穏やかであり、発言しようとする意欲もある。時に反応があまりみられないこともあるものの、コミュニケーション活動になると、友だちに聞き合うなどお互いで教え合うことも出来るようになるなど、前向きに頑張ろうという意欲が見られる。

一方で、英語に対して苦手意識をもっている生徒が多く、それらの生徒たちは、英語学習につまづきを感じていることから、学習意欲の低下が見られる。ドリル学習や繰り返し学習を継続することで、基礎・基本の定着を図ってきたが、依然として、英語で表現したい気持ちはもっているものの、文字を音声化することに困難さを感じて自信がもてず、表現することに抵抗感を有している生徒がいる。

また、今年度の「基礎・基本」定着状況調査の結果では、特に「書くこと」にかかる課題が見られる。

## ○ 指導観

以上のことから、本単元においては、ペア・ワークやグループ・ワークなどの学習形態や、活動内容を精査することにより、英語で表現することが楽しいと感じられ、自信をもって表現できるような生徒を育成したい。

具体的には、ウォームアップのための帯時間の活動を工夫し、語彙や表現を身に付けるための練習を繰り返し行うことで、書く力を育てていきたい。

また本単元では、自分の将来の夢について、間違いを恐れず自信をもって、内容が相手に分かりやすく伝わるように書く力を育てていきたい。そのために、ある程度の長さのまとまった英文の大意を把握したあとで、表現活動への橋渡しとしてペアによる様々な音読活動を実施することで、自己の感想や考えを表現する喜びを感じさせることにつなげたい。

さらに活動を通して、新出表現の文構造や、それを使って表現することに慣れさせることで、表現する意欲を少しずつもたせ自信をつけさせたいと考えている。その際、ペア・ワークなどにより生徒が相互にかかわり合い、助け合える場面を仕組むとともに、個々の課題に応じてヒントを与

えたり、励ましなどの声かけをしたりするなどの個別の支援を行っていきたい。さらに、随所に肯定的な評価をしたり、生徒同士での評価も行わせたりして、表現することに対する自信や勇気をもたせていきたい。

## 5 単元の目標

- ・ 自分の将来の夢について、不定詞を含む表現や既習表現を用いて、内容的にまとまりのある文章を書く。
- ・ 間違ふことを恐れずに伝えたいことを書く。
- ・ 不定詞を用いた文の構造・意味・用法を理解する。

## 6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① 間違ふことを恐れずに伝えたいこと積極的に書いている。 <b>書くこと</b> (言語活動への取組)	① 内容的にまとまりのある文章を書くことができる。 <b>書くこと</b> (適切な筆記)	/	① 不定詞を用いた文の構造・意味・用法を理解している。 <b>書くこと</b> (言語についての知識)

## 7 指導計画

時	学習内容	主な評価規準	評価方法
1	○ ウォームアップ（帯活動） ○ 本単元で行う活動や身に付ける技能を知る。 ○ 不定詞（名詞的用法）を用いて、好きなこと、したいことを書く。	アの① エの①	活動の観察 後日ペーパーテスト
2	○ ウォームアップ（帯活動） ○ 不定詞（副詞的用法）を用いて、行動の目的や理由を書く。	アの① エの①	活動の観察 後日ペーパーテスト
3	○ ウォームアップ（帯活動） ○ 不定詞（形容詞的用法）を用いて、何をやるものかを説明する。	エの①	後日ペーパーテスト
4	○ ウォームアップ（帯活動） ○ 教科書本文の内容を理解し、将来の夢を相手に伝えることができるように練習する。		
5	○ ウォームアップ（帯活動） ○ 教科書本文の内容を理解し、不定詞を用いて将来の夢を書く。	アの①	活動の観察
6	○ ウォームアップ（帯活動） ○ インタビューを聞いて、よく使用される表現ややりとりを聞き取る。		
7	○ ウォームアップ（帯活動） ○ メールの書き方を理解し、ホストファミリーへのメール（モデル文）を読む。		
8 (本時)	○ ウォームアップ（帯活動） ○ ホストファミリーへのメールを、内容的にまとまりのある文章で書く。	アの① イの①	活動の観察 ワークシート
9	○ ウォームアップ（帯活動）		

	○ ホストファミリーへのメールを発表する。		
後日	<ペーパーテスト> ◇ 不定詞を含む表現や既習表現を用いた、内容的にまとまりのある文章を書かせる問題 ◇ 不定詞を用いた文の構造や表す意味、用法等についての理解をみる問題	イの①  エの①	ペーパーテスト  ペーパーテスト

※ 実際の指導と評価においては、形成的評価も含まれるが、ここでは観点別評価や評定につながる総合的評価にかかる部分のみを示している。

## 8 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・ ホストファミリーへのメールを、内容的にまとまりのある文章で書くことができる。

### (2) 本時の評価規準と具体的な生徒の姿

観点	評価規準	具体的な生徒の姿
ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	① 間違ふことを恐れずに伝えたいことを積極的に書いている。	知らない単語や表現があっても、間違いを恐れずに、自分の知っている語彙や表現を使って表現しようとしている。
イ 外国語表現の能力	① 内容的にまとまりのある文章を書くことができる。	既習事項やメールの文章表現を用いて、内容的にまとまりのある文章をすることができる。

### (3) 準備物

教科書・音声機器・ストップウォッチ・ステッカー・マグネット・ワークシート

学 習 指 導 過 程			
時間	学習内容	指導上の留意点	評価
20分	1 ウォームアップ（帯活動） ○ あいさつ ○ Today's Question ・ 教師の質問に対して答え、同じ質問を教師に対して行う。  ○ Q and A ①（復習） ・ 英語で質問し、英語で答えるドリル練習をペアで行う。  ○ Q and A ②（復習） ・ ワークシートを用いて、ペアで単語クイズ（①英語を聞いて単語を探す、②英語を聞いて日本語の意味を探す③日本語を聞いて単語を探す）を行う。  ○ chants ・ チャンツのリズムに合わせて発音する。	・ 単語ではなく文で答えられるように促す。  ・ アイコンタクトしながら答えられるように促す。 ・ 机間指導して戸惑っている生徒を支援する。  ・ 口頭でリピートしながら指さすようにさせる。  ・ 顔を上げて画面を見ながら、リズムに合わせて発音するように促す。	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Reading <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとまった英文を読ませ、内容をペアで確認する。その後、全体で確認する。</li> </ul> </li> <li>○ ひろしま型カリキュラム繰り返し学習用教材 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ディクテーションを行う。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訳すのではなく、内容（あらすじ）を読み取り、ペアで簡単に説明できるようにさせる。</li> <li>・ 大型テレビの画面で答えを確認させることで、時間の短縮を図る。</li> </ul>	
27分	<p>2 展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の目標の確認</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">       ホストファミリーへのメールを、まとまりのある文章で書こう。     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時で学習したモデル文の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時で学習したモデル文を聞き、役立つ表現を確認する。</li> </ul> </li> <li>○ マッピング</li> <li>○ メール（英文）の作成</li> <li>○ 書いたメール（英文）の交流 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書いたメールをペアで読みあい、まとまりのある、相手に分かりやすい内容になっているかを考える。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既習事項や例文から、将来の夢を書くときに用いることができる表現を思い出させる。</li> <li>・ 構成に従ってマッピングさせる。</li> <li>・ 戸惑っている生徒に対して、モデル文やワークシートなどからヒントを与えるなどして支援する。</li> <li>・ ペアでお互いに書いた英文を読みあい、アドバイスをさせる。</li> <li>・ 書き終えた生徒（ペア）は、発表のための練習をするように促す。</li> </ul>	<p>アの① 間違えることを恐れずに伝えたいことを積極的に書くことができる。 (活動の観察)</p> <p>イの① 内容的にまとまりのある文章を書くことができる。 (ワークシート)</p>
3分	<p>3 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己評価表への記入 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の内容の確認と振り返りをする。</li> </ul> </li> <li>○ あいさつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己評価表に Today's Sentence を記入させることで、本時の振り返りをさせるとともに、英語で書くことに慣れさせる。</li> </ul>	